

---

---

令和 7 年度第 2 回北区子どもの権利委員会 議事要旨  
(令和 7 年度第 2 回(通算 4 回) 北区子どもの権利委員会)

---

---

[開催日時] 令和 7 年 8 月 1 日 (金) 午後 5 時 00 分～午後 6 時 59 分

[開催場所] 北とぴあ 7 階第二研修室

[次 第]

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 前回の振り返り
  - (2) 「北区子どもアンケート」の修正版について
  - (3) 子どもの権利委員会から区長への提言 (2 回目議論)
- 3 その他
- 4 閉会

[出席者] 内田 塔子 会長 林 大介副会長 田中 優希 委員  
畠川 麻紀子委員 小柴 千佳子委員 鈴木 將雄 委員  
守谷 暢明 委員  
玄間 もか 委員 篠原 星太郎委員 早川 航平 委員  
前川 璃乃 委員 武藤 愛菜 委員 村田 大河 委員  
萬 慶太 委員 大川 夏美 委員

[配布資料]

資料 1	第 4 回北区子どもの権利委員会 (令和 7 年 8 月 1 日)
資料 2	【アンケート】前回子どもの権利委員会 (5 月 28 日) 委員意見要旨
資料 3	【アンケート】北区子どもアンケート全体図
資料 4 ①	【アンケート】(修正後) 小学校 5 年生用 (案)
資料 4 ②	【アンケート】(修正前) 小学校 5 年生用 (案)
資料 5 ①	【アンケート】(修正後) 中学校 2 年生用 (案)
資料 5 ②	【アンケート】(修正前) 中学校 2 年生用 (案)
資料 6	【提言】テーマ 1 各グループ案 (前回会議で出た案)
資料 7	【提言】テーマ 1 提言案 (統合バージョン)
資料 8	【提言】テーマ 2 各グループ案
参考	委員名簿・委員座席表

## 【会長】

定刻少し過ぎましたので、少し遅れて来られる方、あるいは少し早めに退出をされる方と、いろいろいらっしゃいますが、時間の中でお話しできればと思います。

本日、第4回北区子どもの権利委員会となります。今日、台風の影響でなかなか私が来たときも非常に雨脚が強かったんですが、足元が悪い中、お集まりいただきましてどうもありがとうございます。

前回が5月28日だったので、2か月ほど経過をしました。改めまして、この子どもの権利委員会、区の子どもの権利に関する取組について、大人の委員の皆さんと子どもの委員の皆さんのが一堂に会して一緒に意見を出し合って話し合いをしていくという場になります。

今回、前回の会議に引き続きまして、このように島に分けて、大人の委員と子どもの委員、最初から同じテーブルに座っていただいている。後ほど、グループワークもあるので、また活発にいろいろなお話ができればと思っています。今日もいろいろな意見を出せるといいなと。ですので、子ども委員の皆さんも、大人もですが、安心して様々な考えを共有できればと思っています。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、初めに、事務局のほうからお願ひいたします。

## 【事務局】

皆さん、こんにちは。最初に幾つか連絡事項をいたします。

本日、いつものようにテーブルに飲物とお菓子、用意していますので、会議中、遠慮なく食べながら議論していただければと思います。

それから、お手洗いですが、この会議の出入口、出ていただくと、左手奥のほうにトイレがありますので、会議中もし行きたくなったら、その場で行っていただいて構いません。

それから、本日の出欠の委員の確認をします。本日は1名の欠席となりますので、半分以上の方が出席しているということで、会議を開催できることになっています。

それから、配付の資料の確認をします。全て事前送付資料なんですが、3つあります、次第と書いてある資料、第4回北区子どもの権利委員会次第と書いてあるホチキス留めが1つと、右上に資料の1と書いてある同じくホチキス留めの資料が1つ、それから、右上に資料の2と書いてある資料が1つあります、この資料の2と書いてある資料が資料の2から資料8が束ねてありますので、進行の中でおめくりいただいて、右上に資料の番号が振っていますので、そちらで確認をお願いいたします。

ここまでで、資料の不足等あれば教えてください。

## 【会長】

ありがとうございました。

それでは、早速、次第の2の議題のほうに入っていきます。

まず、1、前回の振り返りです。事務局からご説明お願いします。

## 【事務局】

前回なんですけど、まず、アンケート案を作って皆さんに見ていただいて、意見をいただいたというところになります。書いてあるところをそのまま読んでもしようがないんで、

ざつと言うと、質問の数が多過ぎるんじゃないのとか、設問の優先順位とか、順番を工夫したほうがいいんじゃないですかという話、それから、聞き方として選びづらい、分かりづらいようなのはどうなんでしょうかというところで、そういうところも見直したほうがいいんじゃないですか、あとは、選択肢の中でそれぞれもう少し増やすとか、そういうものですね。それから、もうちょっと整理もしたほうがいいじゃないですか。そういうのを見意見をいただきましたんで、それを踏まえて、方向性というのは基本的にそれに沿った形で直したところになっています。それは後ほど説明、おさらいなので。

もう一個は、前回の振り返り2つ目ということで、シートでいくと4枚目のシート、前回の振り返り2ですね。

権利委員会から区長への提言をしてみましょうということで、この権利条例の中で、区長に提言できるという条文があります。それを使って、ぜひ皆さんのお意見を上げていただきたいと。それは、子どもにもそうですし、大人の普通の委員の皆様からでも結構ですので、そういう提言ができるといいので、ぜひ皆さんで意見をまとめてやりたいな这样一个でお話をさせていただきました。

その中で、提言の狙いというところで、やはり子どもの声を大切にした社会をつくる、これは基本的な話ではあるんですけど、もう一つ、特に子ども委員に関わるという意味では、子ども委員にしてみれば、自分たちの意見で社会を変えることができるということをぜひ味わってもらいたい、体験していただきたい。そこら辺の趣旨を踏まえて、ぜひ提言をしていただきたいということでやっていました。

意見も出していただいて、テーマは2つあって、1つは子どもの権利、これはもういろんなところでもっともっと普及するように、いろんなところで言われてますので、これどうやったら普及啓発ができるか、充実できるかというところ、こっちについては、もう今年、できれば今日の会議で固めて、区長に提言しようと思います。

もう一つは、もう少し自由なテーマで議論していくって、もう少し時間をかけて来年度以降に区長に提言をしていきたい。そのための議論を重ねたいという形、こんな感じが前回の振り返りになるのかなと思っています。振り返りについては以上です。

## 【会長】

皆さん、今のご説明いかがでしょうか。何かお尋ねになりたいことがありますか。大丈夫でしょうか。

それでは、次です。2番、北区子どもアンケートの修正版について。

また、事務局のほうからご説明お願いします。

## 【事務局】

それでは、アンケートの修正版ということで、パワーポイントのほう、資料1でいうと6ページ目、修正版についてということで書いてありますが、先ほど振り返りのところでお話ししたように、皆さんから非常にいい意見をいただきましたので、それをできるだけ反映する形でやってみました。ホチキスとじの資料2から始まっているところの通しページ、5ページ目からが資料4の①、要するに直したアンケートを入れています。少しやつていければと思うんですが、これ、小5のところです、中2もそんなに変わらないんです

けども、言葉の言い方を変えてるところがあります。

通しページの5ページ、このアンケートを4の①って上にあるやつの1ページ目で、前は学校の地区を選んでくださいといったら、王子なのか、赤羽か、滝野川かみたいな形を入れてたんですけど、分かりにくいねとか、地図を入れたらどうですかとかといろんな意見をいただいたんですが、ここについては、もういっそ通っている学校の名前を選んでもらうと。別にこれで回答した人の名前が、個人が特定されちゃうわけではないので、学校の名前はいいのかなと。むしろ学校によって、いろんな見えてくるものがあるかもしれないというのを踏まえて、ここは学校を選んでいただこうという形にしました。

それから、1枚めくっていただいて通しで6ページ、あなたのことを見かせてという、1番目のところ、質問1のところ、その他というのを一応入れています。

それから、進んでいくと、選択肢の赤くなっているところが直したところになっていきますので、そこ、1個ずつやらないんですけど、少し進んで、通しページの8、9ページ、下に4、5というページが打ってあると思います。ここが皆さんにもいただいた、要は分かりにくいというところ、権利がどのくらい大切にされていると感じるかというところなんですが、もう単純に5、4、3、2、1で選べるようにしましょうみたいに、できるだけ整理したほうがいいですねという意見をいただいたんで、それに合わせてみました。

6番も同じような感じ、それからページ進んで、通しページの10、11ページも、記入しなくてもいいけども自由意見を入れるようにしたり、選択肢を少し増やしたりしています。それは11ページのほうも同じです。

というところで、大体トータルで直し終わって、通しページの10番は参考までに前回のをつけてるので、見比べてもらえるといいのかなと思っています。

中2用も、基本的には修正しているところは同じという理解で大丈夫ですので、私があまりしゃべってもしようがないので、皆さんに話してほしいので、説明は以上になります。

このアンケート、ぜひ今回、固めて、実施に向けて進めたいと思いますので、今日、皆さんがいいよって言っていただけると助かります。説明は以上です。

### 【会長】

今、ご説明いただいたところですが、グループワークの1になります。今、ご説明を受けまして、このように今、修正アンケートが出ています。これでいいんじゃないとか、あと、まだ、こういうところを直すといいかかもしれない、あるいは、これはどうなんだろう、そんなところを各グループでまずお話し下さいて、その後、各グループからどんな意見が出たかというのをぐるっと回していくかなと思います。

大体時間、最初、グループで話し合うの10分ほど取れればと思うので、今から10分ぐらい各グループで話し合いをしてみてください。お願いします。

(グループワーク)

### 【会長】

大体話し終わりましたね。黄色グループはどうですか。もうちょっと時間あったほうがいいかな。どうでしょう。黄色グループってそちらなんんですけど、そっちのところ。まと

また。じゃあ、早速、各グループで出た意見を教えてください。

黄色、緑、紫、赤って、こういうふうにぐるっと回っていきたいと思います。

そしたら、黄色グループのどなたかお願ひします。

【委員】

黄色グループです。全体的にすごくやりやすいアンケートになってて、本当に前回の内容が生かされてて、ありがたいなと思っています。順番もやりやすくなつて、一番最初に大事なところをアンケートとして取ることで、集中力がいい感じに続くし、続かなかつたとしても本当に取りたいところは取れるということで、本当にいいと思うし、我ながらこの5段階評価のところがすごいいいなと思っていて、この3があるのが逃げなんじゃないのという意見もあったんですけど、それはある意味、関心がない人がどっちか選ぶのは難しいということで、3があるのもすごくいいなと思います。

一つ、申し上げことがあるとすれば、この通しページの3ページ、子どもアンケート全体図というのが、これがあるだけで、これを読むだけですごくアンケートの見通しがつきやすくなるので、せっかく作っていただいたので、何かしらの形で、例えばこのアンケートの一番最初のページに、この全体図の問題趣旨、質問題趣旨のところだけをいい感じにまとめて、1ページ目のところ、フォームの最初のところに掲示していただけるとか、そういうことがあると質問を答える側としてもすごくやりやすくなるのかなと思いました。せっかく作っていただいたので、より多くの人に見てほしいというやつです。

ほかにありますかね。

【会長】

なるほど。そうですよね、答える側も、こういうこと聞かれるんだなというのがぱっと分かってから、臨めるということですね。

【委員】

そういうことです。全体見渡せるように。以上です。

【会長】

そのほか、ありますか。

【委員】

そのほか、特に改善点はなくて、本当に口調も聞き方が優しくて、タメ口過ぎてもないという、すごく読みやすいなど。一緒に大人とおしゃべりする心情と同じ気持ちでアンケートに臨めるなという自分の意見です。

【会長】

よかったです、ありがとうございました。

じゃあ、次、緑グループ、お願ひします。

### 【委員】

緑チームです。まずは、全体として前回の意見がしっかり反映されていて、とてもよいなと思いました。

改善点として、小学5年生の5ページの質問7の2番の「頭ごなしに否定しないでほしい」という、「頭ごなし」というのが小学5年生にとっては伝わりづらいのではないかと思いました。なので、一方的に否定はしないとか、少し分かりやすい言葉にしたらいいんじゃないかなと思いました。

最後の9ページに、アンケート後に、子どもの権利相談窓口ページのURL表示というところがあったんですけど、このURLを表示する前に、子どもの権利相談窓口について軽い説明みたいなものがあると、このURLを開く前にどんなものか分かって開きやすくなったり、自分のためのものだ、子どものためのものだということが分かってよくなるかなと思いました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございます。そうですね、自分のためのものだと思えるようにしたいですね。ありがとうございます。そしたら、次が、紫グループ、お願ひします。

### 【委員】

改善点は1つ上がって、質問1の4番を選択したときに、記入欄が表示されるって書かれているんですけど、あえて記入欄を表示して入力してもらう必要はないんじゃないかなという意見が出ました。

その他の改善点は特に出なくて、例えば兄弟姉妹とかそういう視野の広い言葉が出てることによって、そういう雰囲気のアンケートになれるのでいいなと思いました。

あと、質問5の②とかの「大切にされている、されていない」って、表はすっきりしたので考えやすくなったかなというのと、あと、それぞれの解説みたいな部分があるじゃないですか、その部分に色がつくだけでもめり張りがついて見やすくてよいなと思いました。せっかくインターネットでやるので、もっと文字に色を使うのもいいのかもしれないという話をしていました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございます。

じゃあ、最後、私たちですね。誰が行こうか。

### 【委員】

ほとんど言い尽くされているんですけど、例えば子ども委員の方々が入っていることによって、修正が非常に柔らかな修正になった。大人ばかりでやると、何か欠点を探したり、重箱の隅をほじくるというか、そういうようなことがありがちなんんですけど、子どもの委員の方々の表現で非常に柔らかな修正になったんによかったなと思っています。

それから、これは先ほど出ましたけど、量が程よいということも大事で、アンケートはだんだん量が多いと最後のほうは答えることに希薄になってしまって、簡単に言えばぞん

ざいになって答えがちだということなんで、量を程よくしたということも、とってもいいことかなと、そんなことをお話をしました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございました。

これでいただきたいコメント、これをもう落とし込めば、もう完成できるような気がしますね。

### 【事務局】

ありがとうございます。大人も褒められるとうれしい。褒められると伸びる、私は怒られて伸びるタイプですけど。幾つかありましたね、全体像、これ、逆に私から相談という意見ですけど、この資料3が入ったほうがいいですね、黄色グループから言われて。作ったほうとしては多分うれしいと思いつつ、これが小5の人だとどうなのか、中学生は多分入っていてもいいのかな、整理ができます。質問趣旨、整理したところをうまく入れたらというご提案だったと思います。中学生は多分それでもいいかなと思う一方で、小学生だと、何か小5のレベルでいけるかなという。そういう疑問というか、それは皆さんの肌感を知りたいなと思いました。別に小学校と中学校、全く一緒である必要はないと思うので、それはぜひ、もう一往復ぐらい聞ければいいかなと思っています。

それから、頭ごなしに、なるほど、そういう、まさに大人の目線で作っているかなという、別に、分かるは子は分かるかもしれないんですけど、やっぱり「一方的」に変えたほうがいいかなと、これは変えますね。

それと、13ページ、子ども権利相談窓口のURLの表示、URLなのか、例えば二次元コードというか、そっちのほうがやりやすいのかもしれない、URL、今、打つ人はいないと思うので。ただ、そうは言っても、相談窓口の簡単な説明はあってもいいなという気はしますね。それもあんまり量が増えると、また、それはそれなので、バランスを見ながら考えてみたいなと思います。

それと、2ページのところ、その他の場合、記入欄が表示、この辺どうですかね。

### 【事務局】

その他、性別について、分かるんだけども答えたくない人もいるという場合は、何かその他というものを設けたほうがいいんじゃないかという話もあったので、その他を入れてみたんですけども、その他ってやったけど、あえて、その意向を聞かなくていいんじゃないかということですよね。考えさせられました。委員の意見も聞いてみたいと思ったんですけど、いかがでしょう。

### 【委員】

その他があること自体はすごく大事だと思うんですけど、記入欄の有無はどうなんですか。何か記入しないとその他を選べないというのは多分よくないとは思うんですけど、あって、書いてもいいけど、書かなくてもその他が選べるというのができるのであれば。書かなくていいというのが分かればいいのかなとか。ここに自分のジェンダーがなくて書け

ないという状況がどうなんだろう、本当に小さなことかもしれないけど、積み重なるとマイクロアグレッショングリーンというか、そういうことにもなりかねないのかなというのが少し考えるんですけど。

【会長】

今の何とかアグレッショングリーンってどういう意味ですか。

【委員】

マイクロって、そんなすごく攻撃的じゃなくても、少しづつ、何というんですか、自分の居場所じゃないとかというような、明かな意図を持った攻撃じゃなくても、少しづつ積み重なることで、その人の傷つきになるようなことにならない質問がいいなというふうに思うので、何か記入欄の有無、それを踏まえた上で皆さんどうかなと、私も実はどっちがいいのかは分からぬと思うので、聞きたいです。

【委員】

いいですか。答えたくないと、分からぬとは、全く全然違うんで、これを1つに一ぐりで3点は不自然かな。答えたくないを3にして分からぬを4にする。あるいは、その他だけに1本にしてしまう、そのほうが何か自然かなと個人的には思っています。この問題が非常に複雑というか、言葉だということ言い表しているんでしょうけど、答えたくないと、分からぬと、基本的に違いますよね。ほかのことでも何でも、分からぬと答えたくないは全然違う。それを一ぐりに3になっているのが、私は不自然かなと、そういうように個人的には思っています。

【会長】

いいですね。それについて、また、何か思うことがあったら、こういう考え方もあるよって、どんどん言っていただいたらいいと思います。

今、言っていただく、それについて、また、何か考えることあった。じゃあ、お願ひします。

【委員】

一つは、委員の意見を踏まえた考えになってしまうんですけど、私は今まで、その他、別に意味なくないって思ったんですけど、もしかしたら自分の性別をそこに入力できることがうれしいというか、その他って一ぐりにされるんじやなくて、ちゃんと打てるということ自体は大切なのかなと思いました。以上です。

【会長】

というと、記入する欄はあってもよいということなのか。

【委員】

はい。

## 【会長】

なるほど。そうすると、その3、4の今の答えたくない、分からないとどうするという話はどう思いましたか。それについて、答えたくない、分からないと一緒にする、しない、一くくりでいいかどうか。答えたくないという人、自分の性別が分からぬといふう人、それぞれこのアンケートを受け取るときに、それに、3、4ってあったほうがいいのか、今のこの3、4にまとまっちゃうこと、分けたほうがいいと思う。

## 【委員】

私も確かに、答えたくないと分からぬでは違うなと思って、答えたくないというのは、自分の中に答えがあるんだけど、それを表に出したくないということで、分からぬといふうのは、そもそも答え自体が自分の中にはないということだと思うので、分からぬといふうのは、その他に入れることもできるのではないかと思って、3に答えたくない、分からぬといふて書くんじゃなくて、さっきおっしゃっていたとおり、3は答えたくないで、4にその他でまとめてしまうといふうのはいい案だと思いました。

## 【会長】

結構、今見てるうなずいてる方が多いですね。どうかしら、黄色のほうもどう、うなずいていた。じゃあ、そうしましょう。決まりましたね。1、男性、2、女性、3、答えたくない、4、その他、記入欄はもちろん入れる。でも、それは書いてもいいし、書かなくてもいい状態になっているといふう。じゃあ、そのようにしましょう。

性別でも本当にとっても大事なところなので、とてもいい議論できたんじやないかと思います。ありがとうございました。

ほかの、一巡しようって言っていましたよね、最初のほうに見取図を入れるという話でしたね。例えば5年生に対してこの見取図、どんなふうにしたらいいか。

じゃあ、ちょっとだけ時間を持って、また各グループ、どんな意見が出たかといふう、回していきますか。

じゃあ、数分ですけど、お願ひします。

(グループワーク)

## 【会長】

いいですか。全然まとめなくていいので、また、じゃあ、こんなアイデアが出たよといふうの回していきたいと思います。じゃあ、また黄色グループからお願ひします。

## 【委員】

こちらのグループでは、区分つていって、「はじめに」とか「あなたのこと」とか「子どもの幸せ」とか、そういうのを分かりやすくするといふうのと、口調を優しくするといふうのと、疑問形にするといふうのが出ました。

具体的には、性別は何ですかなど、最初に見た人が分かりやすくなるようにするといふ

点を直したほうがいいのかなというのと、あと、これは人の意見を否定することになってしまうのですが、後方の部分が集中力の妨げになるなら、初めからこの文、全部消して、もう普通にアンケートを始めるという意見も出ました。以上です。

【会長】

ごめん、今、ついて行けなかった、最後。これもうなくていいよねって言っていたのは、どれのことだったかしら。

【委員】

質問番号ごとのやつにすると細か過ぎる。だから、区分ごとに、あなたのこと、子どもの権利、幸せ、それでいいんじゃないのという。全体を見渡すための。

【会長】

なるほど、区分を大きくということね。

【委員】

はい。

【会長】

理解しました。ありがとうございます。

じゃあ、また回します。緑チーム、お願いします。

【委員】

僕たちの班は、区分のところ、はじめに・あなたのことのところを、あなたのことというふうにまとめて、それ以外のところは一緒にして、質問趣旨のところを2から5のところ、子どもの権利・条例に関する認知と理解を、子どもの権利条例についてにして、あと、12、13の毎日の生活の楽しさと将来の展望を、毎日の生活の楽しさと将来のことについてにして、自由記述という言葉が難しいなって思ったので、自由記述を自由に書いてねとか、書こうとか、そういう言い回しにして、みんなに分かりやすくすればいいんじゃないかなというふうに思いました。だけど、正確な言葉はまだ分かっていないので、皆さんのお意見を聞きたいなって思いました。以上です。

【会長】

ありがとうございました。

そうしたら、紫チーム、お願いします。

【委員】

まず、概要の部分が分かりづらいというのと、内容部分を5年生のやつに入れなくていいんじゃないかというのと。

【会長】

それが入れなくていい。

【委員】

全部内容の部分は切っちゃっていいんじゃないかなという。

【会長】

一番右側の欄が要らないということね。

【委員】

はい。あと、さっき言わされたように、子どもの権利・条例に関する認知と理解をもうちょっと柔らかく、どれぐらい知られているのかとかにしたほうがいいんじゃないかなという意見と、展望が分かりづらいというので、言い回しを変えたほうがいいというのと、あと、自由記述が自由に書くとかでいいんじゃないかなというのが出ました。以上です。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

ほかの班でも出たと思うんですけど、中学生、小学生も構わず、区分つてあるじゃないですか、「はじめに」とか「あなたのこと」とかというところを、もうここだけ表示して、「はじめに」と「あなたのこと」なども、あなたのことでまとめて、「あなたのこと」「大切な子どもの権利」「子どもの幸せ」という3つだけ、こういうことを質問するよと、それだけ載って、簡潔にまとめて、内容とか質問趣旨とか少し難しいので、取りあえずこんなことを聞くよみたいな、この3つだけを表示したら分かりやすいんじゃないかなと思いました。以上です。

【会長】

ありがとうございます。今、一巡してみたんですけど、ほかのグループの意見を聞いて、どうしましょうか、これがいいかな。どうするといいと思いますか。

どうぞ、緑、お願いします。

【委員】

黄色グループが疑問形にしたほうがいいんじゃないかなって言ってたんで、そこを入れるとすると、自由記述のところを自由に書いてみてねとか、自由に書こうとか、自由に書くよりかは、そういう書こうとか書いてみてねにしたほうが疑問形になるから、いいんじゃないかなって思いました。以上です。

【会長】

自由のところ、自由に書いてみてね、これはいいですね。みんないいなって言ってます

ね。

内容の見取図のところ、質問趣旨のところまで入れるのか、あるいはもう、一番左の区分のところの3つって。

**【会長】**

お願いします。

**【委員】**

紫グループも言ったんですけど、1から3にまとめるというのは、僕すごくいいと思いまして、あくまでこの見取図って、小学5年生に分かりやすく見てもらって、最初にこういう感じなんだと知つてもらうために使うものなので、さっき、こちらの班も言ってくれたとおり、疑問形と短くするという意見でまとめたらどうかなというのを思いました。以上です。

**【会長】**

1から3にまとめるって、つまり区分にするということ。

**【委員】**

区分をそのまま用いようという。

**【会長】**

一番左のところをね。すると、あなたのこと、大切な子どもの権利について、子どもの幸せで、自由記述は自由に書いてみてね、こういうことを質問するよ、どうですか、そんな感じ。あと、何か言っていたよね、書き方。絵みたいな。それ、聞きたかった。

**【委員】**

この全体図の書き方についてなんですけど、せっかくアンケートがすごい柔らかくて、温かい雰囲気のものになっているので、かちっとした表を使うんじゃなくて、もっとイラストっぽくしたら、例えば区分だけ使うとしたら、楕円形みたいなものの中に、「はじめに」と入れて、矢印を書いて、下に、また円の中に「あなたのこと」って書いて、というのをイラストらしい、そういう書き方をすると、アンケートの柔らかい雰囲気を引き継げるんじゃないかなと思いました。

**【会長】**

壊さない、雰囲気、壊さないね。

どうでしょう、イメージ湧きましたか。

**【事務局】**

これは整理するために作ったものです。でも、入れるというのであれば、そういう形で入れていくのであれば、こんな図表で入れることはまずあり得ないと私も思っているので、

これは本当に整理用で作ったもので、さっきの意見の過程の中で、せっかく作ってもらつたから入れてみたらどうですかって言っていただいたのはありがたいんで、ただ、この表のままでは入らないんで、多分、何となく今、収れんしてきたのは、区分のところをまるっぽく、何か入れていくみたいな、多分そういう感じなのかなって、事務局としては考えてます。そんな感じでどうでしょうか。

### 【会長】

ありがとうございます。

では、これで行けそうですね。じゃあ、これで完成できると思います。

それでは、じゃあ、次に行きましょう。3番、子どもの権利委員会から区長への提言というところです。

また、事務局のほうから、まず説明をお願いいたします。

### 【事務局】

それでは、パワーポイントは10ページ目ぐらいからでしたね。この間、先ほどの振り返りでもお話をしましたが、区長に提言をしていくこうということで、テーマ1、子どもの権利の普及啓発ですね。あと、それについては、こっちの資料2から始まっているたくさんじてあえるやつの45ページ、資料の6と書いてあるやつですね。通しで45ページ目。資料の6ですね。

この提言をするに当たって、皆さんから意見をものすごいたくさん出していただきました。いろんなアイデアに個人的には私が面白かったのは、この権利委員の皆さんが学校で話すなんて、なかなかそんなことを言ってくれるはうれしいなと思ったんですけど、いろいろな意見が出てきたのが、45から46、47、48まで、チームごとにまとまっているものになっています。

多分、これから少し議論してもらうのかな、グループワークと思うんですけども、最初の45から48で、各チームで出してもらった意見、これも皆さん、目に通してもらえばいいんですが、49ページ、資料7では、これ何となく集約して、いわゆる役所が区のトップの区長に出すときの、大体こういう感じで出せるといいのかなというのをまとめました。

これもこの後議論いただくので、内容についてはそれでいいと思いますけど、お話をしておくと、今後のスケジュールというパワーポイントに戻っていたら、テーマ1の下に、今後のスケジュールで、今日、議論していただいて、何となく内容を固めて、今のところ、私、まだ区長に言っていないんですが、スケジュールだけは取っていないと取れないので、ぜひ、皆さんの意見を、この資料7をもう少しいじりながら固めて、ぜひ区長に、子どもの権利委員の皆さん、別にこれは子ども、大人関係なく、都合のいい方でもいいんですけど、それ区長に提言したら面白いと思ってますので、ぜひ。これ後ほど、来れる来れないについては出欠のほうを取りますので、後日お願ひするので、回答をお願いします。

ちなみに、この提言をいただいて、やれるものは当然すぐ役所やります。大変なのは私たちかもしれませんけど、セクションによってできるところはやっていく。例えば予算、お金がつかないとできないものというのはやっぱりありますので、そういうのはまた、大

体、夏以降、秋ぐらいから本格的に区のお金の使い方、予算、そういうのを議論していくきますので、そういうところで検討していくという形になります。

というわけで、出ていた意見が資料6で、それを少しまとめたものが7になっています。これからは、また会長からお話あると思いますけど、議論してもらうということになるかと思いますけども、説明は以上となります。

### 【会長】

ありがとうございます。

それでは、グループワーク①ということで、テーマ1、子どもの権利の普及啓発の充実策について、まず、各グループで話し合いをしたいと思います。

前回の会議の記録のほうも参考にしていただきながら、さらに、また自由に意見を出し合ってみていただきたいと思います。大体、10分から15分ぐらい時間がとれるかなと思いますので、また少し話をしてみてください。お願ひします。

(グループワーク)

### 【会長】

それじゃあ、また、一巡します。

黄色グループさん、お願ひします。

### 【委員】

すみません、まとまっていないので、冗長になってしまふんですけど、一個ずつ言います。

まず、この提言書自体がいろんなグループのをまとめていただいたので、結構いろいろなことをばらばらに言ってしまっている感じがあって、もう少し絞って提言をしたほうがいいのではないかと考えました。

そこで、私たちの班が着眼したのが、世代ごとの普及をさせるものが必要なのではないかと考えて、例えば小学校とか中学校でしたら、②は学校の授業がいいなと思ったり、あとは、大人の世代であったり、おじいちゃん、おばあちゃんとかの世代だったら、地区的交流とか、何か交流の活動という面では④もいいと思ってて、区民まつりはいろいろな世代が来るので、そこは入れるべきだと考えています。そういう感じで、世代ごとに普及をさせるように提言したほうが、まとまりがあるといいのではないかと考えました。

ここがかなり具体的になるんですけど、区民まつりでイベントでブース出展とありますが、一つのブースとしてつくるのもいいんですけど、ブースとブースの間の時間があるじゃないですか、そこで広告として、ずっと前につくったショートの動画を流すなりなんなりしたほうがいいのではないかって考えています。ショートの動画つくって終わりになっちゃっているんじゃないですかという意見が班の中で出まして、出演している身としては、広まることについて少し複雑の心境もありつつ、ですけれど、やっぱり広まってほしいので、広告的な映画の前のほかの映画の宣伝みたいな、ああいう感じでやるといいと思います。やっぱり区民まつりだと1日、2日で一過性になってしまうじゃないですか、

だから、いろいろ常に動きをつくるという面では定期的な学校の授業だったり、定期的な地域の交流だったりが必要なのではないなと考えました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございます。

そうしたら、緑グループ、お願ひします。

### 【委員】

まず、この子どもの権利が全然知られていないなどみんなで思ったので、知られるためには伝えないといけないから、伝える行動として、中学校で生徒会長会というのがあるから、そこの生徒会長会を生かして、みんなに伝えていこうってなって、外部の講師の人とかがやるよりも、自分たち生徒がやることによって親身感が湧くし、お金の面からも考えても、講師の方の謝礼とかも節約になるなと思いました。

あと、ハンドブックを紙でみんなに渡すんじゃなくて、データで渡すことで紙代の節約になるなって思いました。そのデータを渡すときに、前作ったショート動画をくっつけることで面白みとかも増すし、伝えやすいなと思いました。

あと、中学校生徒が小学校に出前に行って伝えることで、中学生生徒側も関心が増すし、小学校の生徒とかも理解が深まるなと思いました。それは、小学校の土曜授業とかでやることで小学校の保護者とかも理解できるし、今、t e t o r u という保護者との連絡アプリがあって、t e t o r u に写真とか載つけたら、より発信されるなと思いました。

あと、4番の区長へのメッセージは、区長に対しては、子どもの権利がみんな知らないんだよというのを伝えたいなと思いました。町会のイベントとかで、区長、結構出席してするイメージがあるので、そこで区長が直接、子どもの権利というのがあるんですよというのを伝えたら、何十にも重なって伝わるなと思いました。

この取組が実現すると子どもたちがどんなふうに変わると思うというのがあるんですけど、これは、子どもたちの肯定感アップとか、自分の気持ちを伝えやすいとか、そういうのにつながるなと思いました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございました。

そうしたら、紫チーム、お願ひします。

### 【委員】

私たちは、情報が流れて来る、来ないという部分に焦点を当てて、その解決策を考えていて、まず、生徒会朝礼で紹介してもらうという、46ページを見ていただくと、生徒会朝礼で紹介してもらうということに対しては、中学校の場合は実際に保健委員会のお話ですかあるんで、その一環として取り入れやすいのかなという意見が出たんですけど、小学校の場合は、全校生徒に一気に伝えるってなると人数が多いのもあって伝えにくい部分があるんじゃないかな、小1と小6は発信の仕方が変わるんじゃないかなという意見が出ました。あと、出前授業とか学校の中でのワークショップは、もうカリキュラムが決まってし

まっている中で入れてもらうというのは難しい部分があるのではないかという意見も出ました。そして、「北区ニュース」に関してなんですが、これは実際に中学校でも配布されると話題になっているということもあって、「北区ニュース」でアピールするというのかなりの効果があるのではないかと思います。あと、「北区ニュース」以外にも、「くおん」とかほかの新聞みたいなものを使うこともできると思います。あと、花火大会とかの放送、アナウンスで、この存在を伝えたりとか、あとは、ドローンで子ども条例みたいなふうにやったりするアピールの方法も意見として出ました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございました。

### 【委員】

私たちもいろんなことが出来ました。まず、学校の先生方によく知っていただき、理解をしていただくということも先決かなと。その先生のお力を借りて、道徳授業をやっていると思います、どこの学校でもね。道徳授業、最初やるときにはなかなか難解だったんです。先生方自身が道徳で携わるということが非常に手薄だったような気がしてるので、先生方が今勉強されて、どの先生も道徳授業をやれるんですけども、そこら辺のことも同じように、この提言についても先生方によくご理解いただいて、先生方がまず、子ども、生徒に伝えることをご努力をお願いしたいな、そういうふうに思っています。

それから、いろんな集会やなんかでも仲のよい友達同士が誘ってくると、とても理解度が深まるということですから、友達から友達にお話を伝えていただくと、とてもいい傾向が出るのかなということもあります。

それから、「北区ニュース」、これはこの中で私が一番知っている、役所の方は別だけど、生徒さんから見れば、「北区ニュース」よく分からぬと思いますが、月二、三回発行しています。1日号、10日号、20日号という3号出るんですけど、真ん中の10日号は、業者さんに委託をして、業者にお金を払って全戸配布しているんです、どこの家庭にも、町会費を払っていようと払っていまいと。それから、1日号と20日号は、我々の町会のほうに区から委託がされて、区からお金を頂いて、町会活動として、その新聞を配るってことも町会の仕事としてやっています。町の私たちのようなおじいちゃん、おばあちゃんも含めて、役員の方々が一生懸命頑張っていると。あれ、非常に効果が、さっきも皆さんとのところにありましたけど、たまに特集号というのをやって、かなり大きく扱う、もう1面から2面、3面、全部使っちゃうような、この間、お風呂のありましたよね、銭湯。共同事業で取り上げた銭湯のまち、お風呂屋さん、その取上げをすごくやったことがありました。

ですから、これから区長のほうに提言されて、もっともっといろんなことが明確になった暁には部長や課長に頑張っていただいて、「北区ニュース」を一面を全部これで飾ると、そういうような試みも行政の方にお願いをして、幅広く宣伝をすると。「北区ニュース」はとても皆さん見てるというお話を聞きましたので、そういうご努力も併せてお願いをするといいかなと思っています。

## 【会長】

大丈夫です。すみません、いつもまとめていただきありがとうございます。

いろいろたくさんアイデアが出ましたが、どうしようかしら。これを整理して、むしろ区長に全てお見せするというようなイメージでもいいですか。私もいろいろ聞いていて、本当に常に、例えば今おっしゃったような道徳授業というところですと、やっぱり継続的にやっていくというものですし、あと、花火大会とかそういう単発のイベントのところでやるというものもあるし、また、働きかける主体もいろいろありました。学校に働きかけるのか、町会なのか、あるいは区長自身なのかと整理できるなと思いましたし、それぞれすぐにでもできることと、あと、ある程度いろいろな関係部分、関係者に話をして、ある程度時間が必要なものとか、あるいは予算がなくてすぐできることと、予算がないと話を進めにくいくことと、いろいろ整理ができるなと思いました。それを整理して、むしろ、それを全部区長に、こういった意見、こうやって、まず、言っていましたね、知られていないんじて、とにかく。子どもたちが子どもの権利、よく知らないんです。大人もまだ知らないかもしませんと。それをまず最初にお伝えし、その上で、じゃあ、どうすると伝わるかというところを、今、整理をお見せしたらどうかしらというのは、今聞いていて思いました。何かに集約するというより、一つ一つ、何ならいろいろ全部やって進めていくことでもあるのではないかと思いましたので。今日のこの話でまとめるんですよね、まとめて8月の25には区長に提言を出すということなので、あとはどうしますか。今日のこの意見を整理して、その整理したものをもう本当に提言書に落とし込んで、をお伝えするって、その整理のところは、委員会としてはもう今日が提言式の前の最後なので、私が確認をするところもあると思うんです。今の皆さんの意見がちゃんと反映されているかどうかというところを私が最終的に確認をするということで、それで区長に提言していくという形でどうでしょうか。よいですかね、そのような形で。

何かお話しされますか。

## 【事務局】

課題は知られていないことは、それは究極的な課題なんで、1行、2行で済むのかなって思う。出た提案が、どっちかと言うとそんなに絞っているつもりもないんですが、改めて今日出たのも含めて、先ほど世代ごとの構成の仕方みたいな、そこはそっちでやるのかどうか。それとも、今日、割と声の大きかったニュースとか、動画の使い方、いろんなアイデアが結構、それこそ、またいろいろ広がっちゃっているので集約というのは結構難しいなというのが私の直観ですので、だったら、全部わあっと出しちゃうというのは一つ。こういう提言をするのにまとめないのもどうかなという思いはあるんですが。ちょっと悩ましいとは思っていますが。

## 【委員】

すみません、個人の意見なんですけれど、今、集約するか、全部載せてしまうかということで、区長に対して思いを全部伝えるという面では、全部そのまま雑多に書き起こしてしまうのはいいと思うんですけど、それも全部できない可能性も十分にあるので、一旦、今日みたいに雑多にまとめたものを作って、多分、小見出しみたいなものができるじゃな

いですか、この①、②とかのグループ。その中で、①、②、どこを一番やってほしいですかみたいなのを、どこかこの中でアンケートを取って、私たちは特に丸幾つについてやってほしいと考えていますという優先事項的なものを決めたら、私たちの思いを全部伝えられるし、区長さんに対しても比較的取り組みやすい、全部は一気にできないので、優先順位が、グレードがつきやすいのではないかと考えています。

【会長】

なるほど、分かりました。そうすると、全部出すとなかなか強弱がつかないね、確かに。なので、優先順位というところ、何を優先するといいかというとこだけ、ざっと聞いてもいいですかね。今、話の出た中で、特にこれは優先順位高いと思う、例えばうちの赤チームだと、やっぱり「北区ニュース」は強いよねと。本当にあそこに子どもの権利について紹介する記事が載ったら、かなり目に触れるねというような話は出ていました。優先順位、聞きたいなと思います。今いいですか、流していって。じゃあ、また、いつも最初で申し訳ないけど、黄色からお願ひします。

【委員】

まずは、②の学校の授業の継続的に学ぶところ。区民まつり、ユーチューブのショートの普及、私たちはこここの3つが大事だと思いました。

【会長】

ありがとうございます。  
緑のほう、お願ひします。

【委員】

私たちの班は、中学校のほうで出前授業をしてくれる生徒を集めて、その生徒が小学校に出前に行って、そのときに、パソコンをして、そのデータでハンドブックを見て、プラス、そのショート動画をくっつけるのが第一優先だなって思いました。以上です。

【会長】

紫、お願ひします。

【委員】

僕たちの班は、3番の出したような発信手段の活用が一番大事かなと思いました。「北区ニュース」であったり、動画配信であったりとかのものが、いろんな世代に認知させるにはそれが一番大事かなと思いました。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

私たちの赤色の班も③番の多様な配信手段の活用が大切だと思ってて、さっきの話でも出たんですけど、「北区ニュース」を有効的に活用していければ、結構広がっていくんじゃないかなと思ったためです。以上です。

### 【会長】

あと、うちのグループで出たことで、これは課題ですが、他の自治体でも1人1台端末を活用した条例の普及啓発とか、あるいは相談機関の普及啓発ってやられているんですけど、北区内で皆さん� C h r o m e b o o k を1人1台持っているかと思うんですが、それを使っているかというところで話をしました。もともとは、例えば昼休みでも使えていたところが、今は許可を取らなければ使うことができない。本当にもう必要最低限の、これをするので、先生、お願いしますと、認めてもらえないと C h r o m e b o o k を使うことができないという話もありました。せっかく持っているものなんすけれど、かなり使用の限定がされてしまっていて、もはやあまり十分に使われていないという話もありましたので、そこも私は気になったなというところで話を出させていただきました。

今、優先順位、いろいろお聞かせいただいたということで、非常にまとめやすくなつたと思います。皆さんの細かい、いろいろなアイデアもちゃんと入れ込みつつ、優先順位も明記するような形で、区長に分かりやすく伝えていきたいなと思います。優先順位という意見、ありがとうございました。

次、行っていいですかね。では、その次です。テーマの2、こちらも事務局からご説明をお願いします。

### 【事務局】

通しページ、53ページからが資料の8になっていて、この間、自由にというところでいろいろ出してもらったものを、これもチームごとに出了ものをもう本当にわあっと載つけてありますので、これがもう引き続き、いろんなフリートーク的にアイデアを出してもらって、より充実した議論していただければいいのかなと、時間の許す限りですけども、と思っています。こっちはもう少し長い期間検討できるので、今日はそんな感じでお願いできればと思います。

### 【会長】

ありがとうございます。

それでは、今、模造紙を配っていただきましたので、適宜、模造紙、プロッキーを使っていただきながら、さらにテーマ2について、話し合いをお願いいたします。

(グループワーク)

### 【会長】

時間がやつてまいりました。

では、また黄色から、新たに出た意見を教えてほしいと思います。

それでは、お願いします。

### 【委員】

僕たちの班の中では、結論としては、自由になるジェイトエルのような施設をつくるという意見が出ました。この結果になった理由は2つありますて、1つは、僕たちの班では時間が少ないというのが結構目に入ったので、そういう時間を作るという面と、あと、安心して過ごすという面としてこの意見が出ました。時間に関しては、正直、この2つだけの理由だけだと、建物、わざわざ施設を造るというのは、少し難しい要求なのかなとは思ったんですけど、アイデアとしては割としっかりしていたので、この結論になりました。ほか、補足ありますか。ということです。以上です。

### 【会長】

ありがとうございました。  
じゃあ、緑、お願いします。

### 【委員】

緑の班では、課題だったり疑問だと思ったことで、まず、塾とか学校に絶対に行かなきゃいけないときとかで、時間に追われている人が多いというところと、今、学校移転中でバス通学なので、放課後の時間を有効に活用ができないというところと、あと、冷水器がなく、壊れている、そこを直してほしいということと、アイデアは、学校で自習室が解放されているところがあるんですけど、時間が短いなという意見が出たので、朝から夜まで開いていてほしいとのと、私、バス通学なんで、自習室に行くにしても時間がかかってしまうので、区で公共の自習室とかを設けてくださったらすごいうれしいなと思って、自習室の中でも、何か自由にしゃべったりとかする人もいるので、フリートークの場所と、ここはしゃべっちゃ駄目だよという場所を分けてくれたらうれしいなと思っていて。あと、学校で授業に真面目に参加しない人とする人で、同じクラスだと妨害になっちゃうので、少しクラス分け、数学の授業とかは成績順に分けるとか、そういうのをもうちょっといろんな授業で増やしてくれたらうれしいなというのが出ました。以上です。

### 【会長】

ありがとうございます。  
そうしたら、紫、お願いします。

### 【委員】

まず、部活で、先生の時間がなくて部活は思うように活動できないところとかもあるから、外部の人だったりとかをコーチとか委託をしたほうがいいんじゃないかという意見が出たのと、先生に直接自分たちの意見を伝える場所がもうちょっとあったらいいかなという、そうしたら自分たちが思っておられることとかも伝えられるし、先生たちがこういうことでこうしてるんだよという、自分たちが納得できることとしてできるかなというので上がりました。

### 【委員】

あと、強いて言うなら、校則の話が出たんですけど、子どもたちの幸せのことと、厳し過ぎる校則とかは違うよねということで話が出て、北区の中でも学校間で雰囲気が結構違う、校則が緩めの学校もあれば、ちょっときつめの学校もあって、そういう違いを生徒自身が把握できる機会があればいいなと思いました。例えば北区の中学生が集結できる機会、お互いにコミュニケーションを取り合って、そういう感じの学校なんだという機会があるのもいいのかな、考えるきっかけになってよいと思います。以上です。

【会長】

なるほど。

【委員】

この班で出たのが、まず、体育着での登校というか、一日体育着で過ごすことがクールビズの関係でオーケーになっているんですけど、先生が許可したときにしか、シャツ、上の白いやつが出せなくて、インしていなきやいけないという決まりになって、やっぱりインしていると熱が籠もったりして暑いんですね。いろんな子から、私、結構意見を聞いたんですけど、やっぱり暑いから、しかも何で出しちゃいけないのかが分からぬよねというので、だから、まず、そういう校則、決まりがあるんだったら、なぜそうしなきやいけないのかというのが知りたいねという意見が出ました。

あと、先ほどの意見でも出たんですけど、C h r o m e b o o kでの学校内での活用をもっと大幅に広げるというか、自分たちの使いたいときにしっかりと有効活用できるように、また、話し合い直して、使い方についてもっと決め直してほしいなという意見が出ました。以上です。

【会長】

なるほどです。分かりました。

そうすると、これもまた、今の話を前回のものと合わせて整理をして、これも提言としてまとめると。また、それも後、私が確認するというところを少しお任せもいただくということで、よろしいでしょうか。

では、確かに今伺ったお話を伝えられるように、ちゃんと分かりやすく伝えられるようまとめたいと思います。

では、これで、終わりで、あと、その他について、事務局はどちらから。

お願いします。

【事務局】

今日、テーマに上がりました提言の1、テーマの1については、8月の25日に区長に提言をしていくという話を今日しました。この後に、後日、参加の意向を確認するメール、回答はフォームになるんですけども、それを皆さんにお送りする予定ですので、回答をお願いできればと思います。資料にも書いたんですが、義務ではないので、予定が合う方のみということなんんですけど、もし、区長にお会いするせっかくの機会なので、参加できる方は奮って参加いただければと思います。

ざっくりなんですが、参加の意向があるという方、何となく今行けそうだという方、まだ確定版でなくていいんですけど、簡単に手を挙げてもらってもいいですか。行けなそとか、行けそうとか。

半分ぐらいですかね。確定してなくても大丈夫です。分かりました。

では、確定のものは、また、お送りするのは来週の中頃になるかも分からないですけど、でも、早めにアナウンスしますので、よろしくお願ひいたします。

あと、いつも送らせてもらっているんですけども、今日、言い足りなかつたみたいなものも、それも併せてお送りするので、また、それも見ていただければと思います。

では、連絡事項は以上になります。今日は皆さん、意見、ありがとうございました。  
事務局からの連絡は以上になります。

### 【会長】

ありがとうございました。

すみません、8月の25日、私が地方のほうに出張に行ってしまっていて、皆さん、ぜひ、よろしくお願ひします。

まとめるところは責任持ってまとめたいと思います。

それでは、第4回北区子どもの権利委員会閉会です。皆様、ありがとうございました。